

2020 年度実施概要

学校名

気仙沼市立階上中学校

採択活動名

海洋教育パイオニアスクールプログラム（地域展開部門）

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 津波防災・減災について考える～地域との連携を通して～	全学年	総合
2.		
3.		

取り組みの概要

1 探究的学習

東日本大震災について地区住民へ聞き取り調査を実施し、教訓や当時の課題、人とのつながり等を視点に班ごとに探究課題を設定した。課題解決に向け、アンケート調査、現地調査、文献研究等で情報を収集し、比較、分類、関連付けにより整理・分析した。自分たちの考えや提案等をまとめ、学習の成果を発信する場として、学習発表会を実施した。

**2 体験活動の実施**

救急救命講習、市総合防災訓練、避難所初期設営訓練等を実施した。特に避難所初期設営訓練では、新型コロナウイルス感染症への対応を視野に入れた。市危機管理課職員の立会のもと、避難スペース確保のためのパーティションや簡易テントを体育館に設置した。地区割りや受付、救護等において避難所マニュアルの改訂が必要であることが明らかになった。

**3 啓発活動の実施**

特に「自助・共助」の重要性を伝えるため、近隣小学校において、防災カルタや紙芝居、クイズを取り入れた対話型の活動を実施している。このような活動を通して地域の防災の重要性を自分事と捉え、「震災を知る最後の世代」として「震災の風化」を防ぐため、更には、地域全体の防災意識を高めるため、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館における語り部活動へボランティアとして参加するようになった生徒もいる。「気仙沼東日本大震災伝承ネットワーク」の指導を受けながら、微かな自分の記憶や体験を交えたり、身近な人から聞いた実体験やそこから得た自分の考え等を加え伝えたりして、館内ガイドを務めた。

